

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		うさぎのみみ				公表日	令和7年 2月 18日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1	・児童発達支援と生活介護を一部屋で運営しているため、コーナーを使用し、児童エリアと生活介護エリアで分けて支援している。(2名) ・カーテンを利用して仕切っている。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		10			・事業改善により、もう少し増員が必要である(2名)・・・今後増員予定	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		8	2		・今後情報伝達機の充実を図りたい。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		10			・おもちゃなどを片付けるスペースが少ないため棚などを設け、使いやすいように工夫したい。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		8	2	・パーティション等を使用し、工夫はしている。(2名) ・スタッフが必ず1名付き、室内を自由に過ごしていただける環境を整えている。	・場所の確保は賃貸料との関係でなかなか理想的にはなっていないが、現在はなんとなくになっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	3	・児発管、看護師等皆で改善に努めている。 ・気付いた時に話し合いを設けている。	わからない 1 ・非常勤職員の参画の機会はまだ十分とは言えない。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2	・保護者と面談し、希望の確認ができています。 ・常勤職員から報告を受け、業務に役立てている。	・わからない 1名 ・がんばってはいるが、まだまだ改善の余地あり。今後は定期的にそういった機会を設ける。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1		・把握する機会はあるが、改善につなげる方法は今後も検討していく必要がある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	5		・今後実施を検討している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10			・実施しているが、今後は定期的の実施していきたい。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		・個別面談を実施する前に家族の意向を聞くアンケートを実施している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		・非常勤職員からも発達状況などを1ヶ月ごとに報告書を作成している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1		・共有方法を考える必要がある。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	2		・職員のスキルアップも含め、今後検討していく。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1	・少しずつ整備されてきている。	わからない 1	

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		・行事などについて話し合いを持っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		・少人数であるため、行事を通して集団活動を実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		・非常勤職員で短時間勤務でもその日の様子を必ず報告している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	・相談支援事業所の動き方によって、保護者以外から情報を得ることが難しいことがある。	分からない 1 ・会議自体が開催されていない。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2		分からない 1 ・今後体制強化に向けて取り組む予定である。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	・就学予定先の見学に同行	分からない 2 ・そういったケースがなかったが、今年度実施予定である。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9			分からない 1
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	非該当			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	非該当			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	非該当			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	4	・今年度、巡回型の支援を受けることができた。	分からない 1 ・センターが機能していない（2名）
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	1	・イベントに近隣保育園を招待し、一緒にパネルシアターを楽しんだ。 ・年に数回でそんなに多くのチャンスはないが実施している。回数を増やしていきたい。（2名）	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		・連絡帳や送迎時に保護者に伝える時間を設け、必要な情報収集を行っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	・情報提供を実施している。	分からない 1	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	5		・父母会は実施していない。・・・ご家族のご意見を聞きながら、実施を検討していく
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10			・もっと充実させていかなければならない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	1	・お祭りの時に地域の障害者の方に声をかけて参加していただいた。		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1		・非常勤職員にももう少し分かりやすく周知してほしい。・・・わかりやすいよう、掲示などの工夫をする
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10			・定期面談時や送迎時などで確認をしている。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			・分からない 1
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1		・分からない 1
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	1		・非常勤職員にもわかりやすくしてほしい。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1		・分からない 1
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9			・分からない 1・・・身体拘束の記録を毎日つけていることなどを、非常勤職員にも周知していく。	